

「一部企業の課税免除を繰り返すことは
優遇措置であり、町民のためになる訳がない」
「自主財源の大きな柱は、
誘致による産業振興」

黒木博行 議員



それ以上になると予想される。

意見 今の財政状況では、学校施設の長寿化計画による改修が後手に回る。先の投資効果案件（企業誘致）より、教育と福祉から考えて頂きたい。

問 持続可能な財源運営を維持するため、既存事業の見直しを図り、財政を建て直すことが重要だと考えるが。

課政経営 厳しい財政状況を排除し財政運営を進めていきたい。

問 教育現場の環境の改善を優先しなければならぬが。

課教育総務 それに伴う改修の想定額は、直近の10年間で約15億円、

10年間で20億円以上企業誘致のためのお金を使っているが、法人税、固定資産税の税収が平成23年から令和2年までほぼ横ばい。人口も少しずつ減ってきていると言うことからして、町が企業補助で20億円以上もお金を出して補助金額に見合う効果は出ていない。

意見② コロナ禍できびしい状況に追い込まれ、農業者、商業者、他、多くの人たちが困窮している。その中でも、ひとり親、障がい者、寝たきりの高齢者を抱えている人たちは、どうやっていくのか。町内の一事業所に5000万円ものお金を町民の税金から出して、町民のためになるとは思わない。

町長 自主財源の大きな柱は、産業の誘致による産業振興だ。

意見① 企業立地補助金が4年間で3億1967万円、固定資産税の課税免除額が9年間で4億3000万円、他

子ども宅食（福祉事業）



子ども宅食（福祉事業）

「蚊口浜周辺の振興対策について」
「進捗中であるが課題も多い」

黒木正建 議員



問 飲食業であった「磯亭」及び「るりや」の今後の活用について伺う。

町長 「旧磯亭」は、認定非営利法人高鍋町観光協会が建物を取得し、令和3年4月1日に土地の借地契約を交わした。一方、「るりや」は、IT関連の事業者が建物を取得し、令和3年10月1日に土地の借地契約を交わしたところである。今後の活用について「旧磯亭」は、現在、建

物の補強工事が実施されており、今後は、ビーチハウス事業などを実施する予定である。「るりや」については、今後、「ワーケーション施設等への活用を検討中と伺っている。事業を通じて高鍋町の観光振興にも貢献していきたいとの事である。

問 海岸側道路の舗装工事について

課地域政策 段差解消を目的とした工事延長が180メートル、南側の追加舗装が93・25メートルとなっている。今後、交通滞り解消に寄与するものと思われる。

問 永年の懸案であった工事であるが、その内容を伺う。

問 週末等には親子子ども利用者が多い。現在設置してある遊具及び要望の多いバスケットゴールの新設について伺う。

課建設管理 現在の遊具の種類は。

- (1) ローラーすべり台
 - (2) コンビネーション
 - (3) サイクルクライミング
 - (4) レンジャーロープ
 - (5) ブランコ等の5種類
- バスケットゴール等の要望もあるが増設する予定はない。今後の利用状況等見ながら検討していきたい。
- 意見** 現在、蚊口浜ではサーフィン人口も増加し活気が見られるのは非常に喜ばしいことである。一方、課題として、
- (1) 海岸の流木
 - (2) 海岸の浸食



舗装された海岸側道路

「宮越樋管の揚水機場完成は」
「本格稼働は令和5年になる」

春成 勇 議員



問 宮越樋管の揚水機場の完成はいつになるのか。

町長 外柵工事や仮設ポンプ撤去工事が4年度完成で、本格稼働は5年度になり、浸水被害の軽減に努める。

問 ワクチン接種の状況は。

課健康保険 3月15日現在で1回目155

35人、85・64%。2回目が15325人、84・48%。3回目が5701人、31・4%の人に接種している。また、5才以下11才の接種者は1214人が受けている。

問 第6波では1月9日～3月15日までに344人の感染者が確認されている。10才未満で55名が感染しているが教育・保育施設の対応は。

課福祉課長 第6波になり2件のクラスターが発生し、高鍋保健所と協議の上、状況に合わせて臨時休園の措置を取り対応している。

問 現在の感染者への誹謗中傷の対

課健康保険 オミクロン株の影響により感染者が多くなる中、10才未満の感染者も多くなっている。誰もが感染する可能性がある認識の上、人権尊重について広く広報している。

問 太陽光パネルの設置の手続きはあるのか。

課建設管理 設置規制はない。土地の利用関係で、農地を転用する手続き、また林地や山の部分での設置では林地関係者の面積要件で該当する事例がある。

問 本町は平成26年に景観条例を定

めているが町の規制状況は検討しているのか。

課建設管理 県内の市町村の一部で、景観計画や景観条例に基づく届け出の義務を設けているところもある。町では規制や制限は設けていない。他市町村条例等を参考に検討する。

問 青果市場の東側と南側の排水路については、菖蒲池、萩原、下屋敷、蚊口地区と水利組合により排水が流れている。菖蒲池の一部は下水道があるが、これらの地区は下水道がない。土砂の浚渫、草木が生い茂っている状況だが管理はどうしている

課建設管理 維持管理ができない状況である。定期的に管理作業を行っていききたい。

問 南側の排水路は素掘りの区間があるが設備計画は。

課建設管理 事業化ができない状況であるが事業着手を検討していきたい。



令和5年に本格稼働する宮越樋管揚水機場